

## 令和7年度（相模原弥栄高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に対して「神奈川県職員行動指針」の周知徹底を図り、求められる行動を再確認した。</li> <li>・公務内外において、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し、不祥事（特にわいせつ事案）の防止を図るための警察OBを講師とした研修用映像を視聴した。</li> <li>・年間を通じて、事故・不祥事が起きた際に、新聞記事等を職員室に掲示して信用失墜行為がないよう注意喚起を行った。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワーハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮し、職場のパワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月及び1月に「職場のハラスメント」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・啓発資料等を通じて相談窓口を周知し、教職員が相談しやすい職場づくりに取り組んだ。</li> </ul>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の発生を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との連絡手段として、個人の私的なメール等の利用の禁止を徹底した。</li> <li>・生徒指導等は複数で行い、個別指導は密室で行わず、誤解を生ずる可能性のある言動をしないように注意した。</li> <li>・教科準備室等の死角をなくし、管理職による日常的な巡視を実施した。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導の発生を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に「体罰・不適切な指導の防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・日常的に生徒に関する情報交換を密に行い体罰の防止に努めるとともに、生徒の変化に注意を払い生徒理解に基づいた適切な指導を行った。</li> </ul>
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	適切な成績処理、誤りのない進路関係書類の作成及び取扱いの徹底を図り、決して事故を発生させない体制整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に「定期試験・成績処理の事故防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・定期試験の朝の職員打合せ時に、事故がないように受験上の注意事項を再確認し、事故防止に努めた。</li> <li>・成績一覧表、通知表、指導要録や調査書等の作成マニュアルに基づき、職員が正しく理解し、作成できるよう徹底した。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に「児童・生徒の個人情報の取扱い」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・行事等の際に個人情報を持ち出すことがあるので、適切な管理を行うように適宜、注意喚起をした。</li> </ul>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法令を遵守して交通事故の発生を未然に防止するとともに、全教職員が、決して酒酔い・酒気帯び運転を行わないよう意思の統一を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に「飲酒運転等の根絶」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・打合せ等を通じて、法令を遵守する姿勢をもたせ、交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止等を徹底した。</li> </ul>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	円滑な公務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用して、業務の進行管理や情報共有を図れるようにした。</li> <li>・日常におけるコミュニケーションを大切に、全教職員における協力体制づくりを目指した。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	財務事務等を適正に執行し、事故の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に「適正な私費会計の取扱い」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・県立学校財務事務調査の指導結果に基づき、全職員で指摘事項の共有をするとともに、事故のない財務事務等の適正な執行について確認した。</li> </ul>

<p>入学者選抜に係る事故防止</p>	<p>入学者選抜に関する業務に適切に取り組み、事故防止に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に「入学者選抜の事故防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。</li> <li>・本校の6種類ある(多様)複雑な入学者選抜を目前とし全職員で業務内容を確認した。</li> <li>・入選期間では、朝の職員打合せ時に過去の事故事案や注意する点を確認し事故の未然防止に努めた。</li> </ul>
---------------------	--------------------------------------	--

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

本校では、日頃から職員会議や職員室内での標語掲示等通して、職員への不祥事防止に係る注意喚起を行っている。

校長として、教職員一人ひとりに対して声掛けを大切にしている。若手職員を対象とした不祥事防止研修を実施するなど、風通しの良い職場づくりに努めている。

今年度は、ハラスメント関連について職員に研修を年間2回実施する等、重点化することができた。不祥事ゼロプログラムを適宜検証して、不祥事の起こらない環境づくりに努めることができた。

次年度は、業務執行体制の確保や財務事務等の適正執行に関することに重点をおいていきたいと考えている。

また、職員との日常的な会話の中で情報共有をし、「風通しの良い職場づくり」を目指していきたい。不祥事防止・事故防止を継続的な取り組みとして行い、不祥事を未然に防ぐためにも、研修を適時に行っていく。